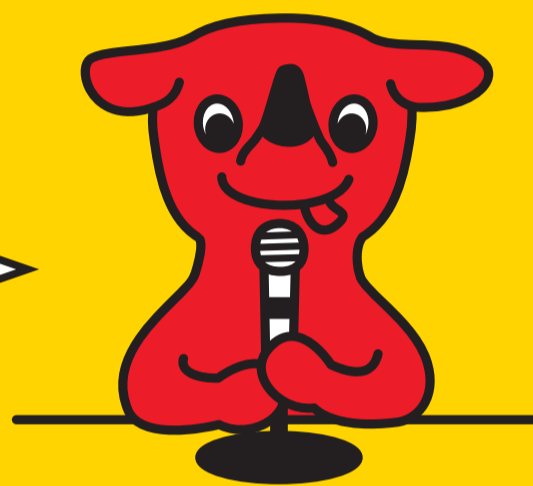


地域のリスクを知り、備える ちば地震防災ガイド

千葉県中央部地域に
お住まいのみなさん
「震度6強」の地震への備えは
できていますか？



千葉県マスコットキャラクター
「チーバくん」

千葉県内ではどこでも「震度6強」の揺れが起こる可能性があります。

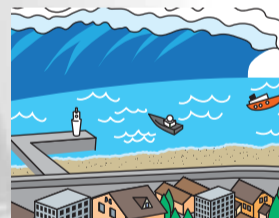
「立ってられないような激しい揺れ」が発生！ その時、何が起きる？

古い木造建物（昭和56年以前に建てられ、耐震補強がされていないもの）の多くが倒壊



海での地震の場合、沿岸部に津波が襲ってくる恐れ

（一般にマグニチュード7以上の地震の場合、津波が発生する恐れがあります）



建物や家具・家電が倒れて下敷きになり、そのまま火災に巻き込まれる



埋立地や河川周辺で液状化が発生する地域も

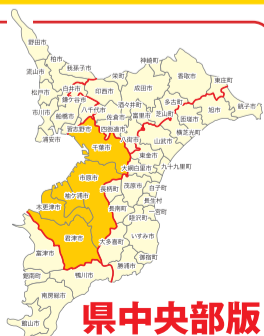
建物が密集している場所では火災による延焼が止まらない

外出先から家に帰れない！
居場所がない！
あなたも「帰宅困難者」に



多くの地域で停電・断水し、食事や風呂、トイレなどが不自由に

停電や通信規制の影響により、電話がつながりにくくなる



県中央部版

【本ガイドの主な対象エリア】

千葉市、木更津市、市原市、君津市、袖ヶ浦市



次のページから、
お住まいの地域のリスクと
対策を確認しましょう





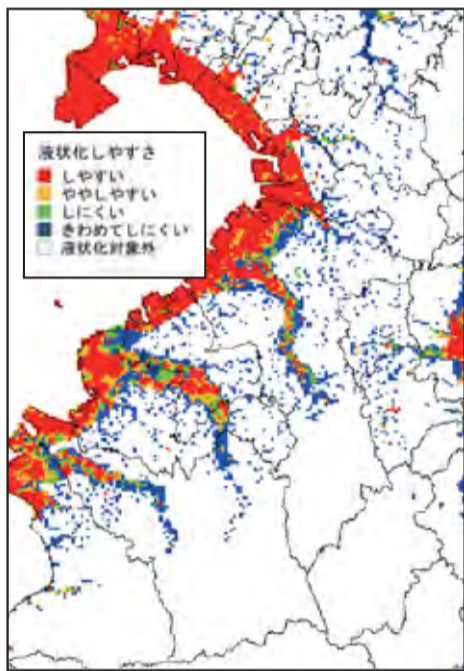
お住まいの地域のリスクを知ろう

千葉県では、平成26・27年度に新たな地震被害想定調査を実施しました。ここでは、その調査結果やこれまでの県の取組みを基に、地震による地域のリスクを紹介しています。事前にリスクを知り、備えにつなげましょう。



【液状化しやすい?】

県中央部地域では、東京湾沿岸の埋立地を中心に、液状化しやすい地域が広がっています。下の図は、震度6強の揺れがあった場合の液状化しやすさを評価したマップです(液状化対策は考慮していません)。

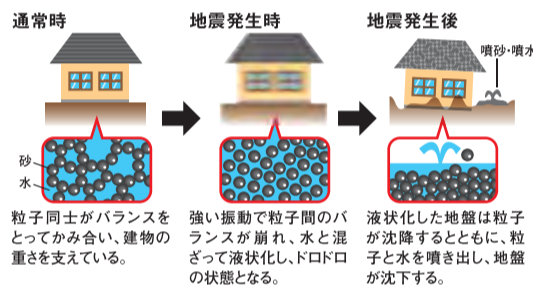


液状化しやすい地域

埋立地や河川沿いなど、砂地盤で地下水位が高い場所では、強い揺れにより液状化現象の発生が懸念されます。

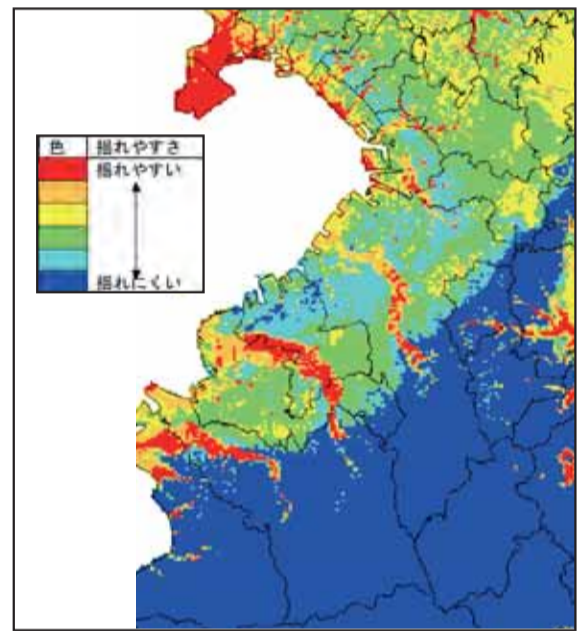
液状化により、地下の上下水道管やガス管、地上の電柱・電線が被害を受け、ライフラインが途絶する恐れがあります。また、道路の隆起や陥没、マンホールの浮き上がりなどにより道路通行が困難になる恐れがあります。

●液状化のメカニズム



【揺れやすい?】

県中央部地域では、東京湾沿岸の埋立地を中心に、やや揺れやすい地域が広がっています。下の図は、地震が起きた際の地域の揺れやすさを評価したマップです。



【石油コンビナート地区はどうなる?】

東京湾沿岸には、千葉県の産業の要でもある石油コンビナート地区が広がっています。これらの施設は、想定される揺れや液状化に備えて設計されており、また、出火や爆発を防ぐ防災体制が整備されています。

一方で、東日本大震災では、大規模な火災、爆発が発生し、近隣の住宅の窓ガラスが割れるなどの被害が発生しました。

もし、地震によりコンビナート火災が発生したとしても、落ち着いて身を守りながら行動することが大切です。



【帰宅が困難に】

鉄道の利用者が多い県中央部地域では、鉄道の運行停止により、多くの方が帰宅困難者となります。

駅周辺の施設や道路には人があふれ、徒歩による帰宅は集団転倒などの危険性が伴います。

また、道路上は損壊した建物や落下物、火災などの影響により危険な状態となっている恐れがあります。



【津波の程度は?】

東京湾口(房総半島洲崎)で約10mの津波が発生した場合、最大約3m程度の津波が押し寄せる恐れがあり、沿岸部にお住まいの場合すみやかな避難が必要です。



「ちば地震被害想定ホームページ」を活用して、地域の特徴を詳しく調べてみよう

「ちば地震被害想定ホームページ」では、お住まいの地域の「揺れやすさ」や「液状化しやすさ」を地図上で詳しく確認できます。また、その土地がどのような土地であるのか(台地、盛土・切土、明治期の水田など)も確認できます。その他、液状化への備えや被害想定調査の詳細な内容など、様々な情報がありますので、ぜひご利用ください。

ちば 地震被害想定 検索



「液状化しやすさ」マップ



「地形からみたリスク」マップ

〈URL〉 <http://keihatsu.bousai.pref.chiba.lg.jp/higaisoutei/index.html>

